

羽ばたけ 大空へ

蒼天

新聞財団

編集：鹿屋体育大学
発行：公益財団法人鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
編集責任者：鹿屋体育大学長
発行人（発行責任者）：財団理事長 風呂井 敬
財団事務局：〒891-2393 鹿屋市白水町1番地内 0994-46-4827(直)

2025年世界形柔道選手権大会

21歳未満の部で

優勝!!



令和7年11月8～9日のペアとして出場した本にフランス・パリで開催された「2025年世界形柔道選手権大会」の21歳未満の部・固の形に、宇和島高等学校・愛媛県立歳末の部・固の形に、福岡県立三井高等学校・全日本学生柔道連盟の代表選手として「受」と取

たしました。12月1日に柔道部部長兼顧問の小澤雄二教授と同監督の小崎亮輔講師とともに、学生代表として世界の頂点に立った2人が金メダルを手に入れた。金久博昭学長を表敬訪問しました。

金久学長は、2人が柔道の学生代表としてチャレピオンになったことへの祝辞を述べた後、「形は年齢を重ねても続けられ、柔道の技のエッセンスが凝縮されているので、今回金メダルを勝ち取ったことを機に、今後は柔道の形を広める役割も担ってほしい。さらに精進し、次回シニアの部での優勝に期待しています」と激励しました。

長岡さんは「決勝に残ることを目標に頑張りました。金メダルを期待する声が多く、プレッシャーはありましたが実現できてよかったです。野本さんは「金メダル」にこだわって、取るに決めていたので、現実勝の喜びについてコメントしました。

小澤教授は「あっぱれ!という言葉に尽きます。2人の努力で勝ち取った金メダルで、指導者としてもありがたうという気持ちでいっぱいです。小崎講師は「学生の形は今回4年目の大会でした。形は本気で取り組めば取り組むほど面白くて奥が深いということが分かっていて、学生時代に世界形柔道選手権大会を味わえたことをうらやましくも思います」と、今回の長岡・野本ペアの快挙を一緒に喜びました。

令和7年度 競技成績報告会を 学生食堂で開催!

令和8年2月13日、鹿屋体育大学及び公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の主催による令和7年度競技成績報告会を開催しました。この会は、世界大会出場や全国大会優勝など、各競技大会で特に優秀な成績を収めた学生の健闘を称えるとともに、日頃からご支援・ご協力をいただいている学内外の方々をお招きし、感謝の意をお伝えするために毎年開催しています。

会には、今年度優秀な競技成績を挙げて招待された学生たちの颯爽とした入場が始まり、金久博昭学長が主催者として、今年度も昨年に続き開催できることや国内外の競技大会での学生の活躍を述べ、来賓の方々のご支援により今日を迎えられたことへの感謝の言葉を添えて挨拶しました。

また、令和8年2月5日に就任した郷原拓男鹿屋市長が来賓を代表して「学生の皆さんが優秀な競技成績を挙げられ、鹿屋体育大学のみなならず、鹿屋」の名を高められたことが我々の誇りであり、地域に元気を与えていたこと大変感謝しています」と述べました。公益財団法人鹿屋体育大学体育・スポーツ振興教育財団の風呂井敬理事長が来賓の

皆様の財団への支援に感謝の意を添えながら「学生の皆さんへの支援は今後も続けていきますので、さらに活躍してください」と、乾杯の発声をし、会がスタートしました。

季節のフルーツも盛り込まれた学生好みのメニューに、満面の笑みで学生たちが舌鼓する歓談の中に、課外活動団体ごとに顧問教員や学生自ら競技成績の報告等が行われたほか、鹿屋市から鹿屋市スポーツ奨励金の贈呈、一般社団法人AtFar m Atmosphereから鹿屋体育大学アワ



ドの表彰が行われました。その後、岡村颯太さん（スポーツ総合課程3年・陸上競技部 佐賀県立致遠館高等学校・佐賀）が学生代表挨拶をしました。最後に、竹中健太郎競技力向上担当学長補佐から謝辞があり、約1時間30分の報告会は盛会のうち終了しました。

最近、日々の暮らしの中で「生成AI」の存在感はずいぶん大きくなっていると感じる出来事があった▼将来、子どもが「友達かできた」と言ってきたら、その相手は生身の人間?それともAI?そんな確認をする日が案外近くまで来ているのかもしれない。(K.F)

いつもご支援いただいている来賓の皆様と

「わかくさ」
生成AIと呼ぶ対話型の生成AI。返ってきたのはまるで友達のように砕けた口調の明るい声。最後には励ましの言葉まで添えられていた。娘は「わからないことがあれば、まずはチャットに聞くのだという。時間や場所を選ばず、相手の都合を気にせずに相談できる存在は、コスパ・タイプを重視する若者にとって相性がよいのだろう▼テレビでは、小学生の標語コンクールで入選作品の半分が生成AIによるものだったと伝えていた。子どもたちがAIを「考える道具」として当たり前に使っていることに戸惑いもあるが、地図や時刻表を開くことをやめ、乗換案内アプリやカーナビに目的の地まで連れて行ってもらおう自分も同じ流れの中にいる▼生成AIの使用に一概に長し短しで語るのではなく、使い方を考える。AIが「考えることを奪う存在」ではなく「考える余力を与える存在」であれば、よき相棒となり得るだろう。そんなことを、二つの出来事から思った▼将来、子どもが「友達かできた」と言ってきたら、その相手は生身の人間?それともAI?そんな確認をする日が案外近くまで来ているのかもしれない。(K.F)

スポーツを愛する人たちへ

(公財)ミズノスポーツ振興財団は、「日本国のスポーツの振興に必要な事業を行い、さらなる国民の心身の健全な発達に資する」を目的とし、その活動は55年以上にわたります。具体的には、スポーツの普及振興やスポーツの国際交流の発展に対する助成、スポーツに関する科学的・学術的・医学的研究に対する助成、優秀なスポーツ指導者やスポーツライターを顕彰する事業などを行っており、その助成累計額は約93億円に及びます。

公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団

カヌーを軸に回る人生

卒業生 Interview

伊佐市役所職員
伊佐カヌークラブ創設者

13期生 植木 裕一郎さん



【Profile】

うえき・ゆういちろう。1978（昭和53）年3月9日、熊本県生まれ。1993年熊本県立球磨工業高校入学。1995年 世界ジュニア選手権カナディアンフォア500m 5位入賞、国体及びインターハイでカナディアンシングル500m優勝。1996年4月、鹿屋体育大学入学。日本選手権 カナディアンペア500m優勝。オリンピック強化指定選手。2000年3月、鹿屋体育大学卒業。同年4月、大口市役所（現伊佐市役所）に入庁し、伊佐カヌークラブを創設した。

「私の人生はカヌーを軸として回っているんです。そう話すのは2000年卒業の植木裕一郎さんだ。選手、指導者、大会役員等、カヌーに関することはすべて経験し、東京2020オリンピック・パラリンピックでは国際審判員として参加した。

カヌーと共に歩んできた植木さんがこだわっているもう一つが大学だ。「自分がこの大学は間違いないと勤めているのが鹿屋体育大学です。ですから長男が今4年生、長女が2年生に在学しています」。さらに4月になれば次男が入学してくることがすでに決まっています。

植木さんがカヌーと出会ったのは、熊本県人吉市にある球磨工業高校に入学してからその年に新任の教諭としてやってきたのがロサンゼルスオリンピックとソウルオリンピックのカヌー日本代表

「私の人生はカヌーを軸として回っているんです。そう話すのは2000年卒業の植木裕一郎さんだ。選手、指導者、大会役員等、カヌーに関することはすべて経験し、東京2020オリンピック・パラリンピックでは国際審判員として参加した。

「私の人生はカヌーを軸として回っているんです。そう話すのは2000年卒業の植木裕一郎さんだ。選手、指導者、大会役員等、カヌーに関することはすべて経験し、東京2020オリンピック・パラリンピックでは国際審判員として参加した。

「私の人生はカヌーを軸として回っているんです。そう話すのは2000年卒業の植木裕一郎さんだ。選手、指導者、大会役員等、カヌーに関することはすべて経験し、東京2020オリンピック・パラリンピックでは国際審判員として参加した。

「私の人生はカヌーを軸として回っているんです。そう話すのは2000年卒業の植木裕一郎さんだ。選手、指導者、大会役員等、カヌーに関することはすべて経験し、東京2020オリンピック・パラリンピックでは国際審判員として参加した。

「私の人生はカヌーを軸として回っているんです。そう話すのは2000年卒業の植木裕一郎さんだ。選手、指導者、大会役員等、カヌーに関することはすべて経験し、東京2020オリンピック・パラリンピックでは国際審判員として参加した。

まっすぐに。正直に。

たいかい
大波酒造株式会社

〒893-0016
鹿児島県鹿屋市白崎町21番1号
電話(0994)44-2190 FAX(0994)40-0950

- 飲酒は20歳になってから。
- 飲酒は楽しく、適量を。
- 妊娠中、授乳期の飲酒はお控え下さい。
- 飲酒運転は法律で禁止されています。

第72回 秩父宮妃賜杯全日本インカレ

好バレー部 準優勝!!



あなたの町に、レモンガス

株式会社レモンガスがこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

汲取の御注文
浄化槽の管理

水質保全に
全力投球

株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL(0994)43-3425

Kubota 農業機械
株式会社
ミズホ商会

http://www.mizuho.kubota.ne.jp

〒893-0009
鹿児島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

1983年3月、筑波大学体育専門学群卒業。1986年3月、筑波大学大学院体育研究科修士課程健康教育学専攻修了。体育学修士。筑波大学体育センター文部技官を経て、1988年4月、鹿屋体育大学体育学部助手として着



瓜田 吉久 教授
(在籍年数38年)

3月で定年退職される先生

任。1994年4月、助教、2007年10月、教授。2012年8月、2020年3月、学長補佐兼務。専門分野は陸上競技論、トレーニング学。日本陸上競技連盟公認審判員A級審判。主な競技歴は、砲丸投日本記録樹立(1982年、1985年)、ユニバーシアード神戸大会砲丸投7位(17m52日本記録、1985年)、ソウルアジア大会砲丸投3位(1986年)、日本陸上競技選手権大会優勝5回を含め16回の入賞。本学陸上競技部の部長・監督・投擲兼跳躍コーチも

任。1994年4月、助教、2007年10月、教授。2012年8月、2020年3月、学長補佐兼務。専門分野は陸上競技論、トレーニング学。日本陸上競技連盟公認審判員A級審判。主な競技歴は、砲丸投日本記録樹立(1982年、1985年)、ユニバーシアード神戸大会砲丸投7位(17m52日本記録、1985年)、ソウルアジア大会砲丸投3位(1986年)、日本陸上競技選手権大会優勝5回を含め16回の入賞。本学陸上競技部の部長・監督・投擲兼跳躍コーチも

1986年3月、早稲田大学法学部卒業。1988年3月、早稲田大学大学院法学研究科修士課程公法学専攻修了。1997年3月、同博士任。



森 克己 教授
(在籍年数26年)

後期課程同専攻単位取得
対校選手権大会並びに日本学生陸上競技個人選手権大会において学生を優勝8回を含め多数の入賞へと導いた。

1986年3月、早稲田大学法学部卒業。1988年3月、早稲田大学大学院法学研究科修士課程公法学専攻修了。1997年3月、同博士任。

なぜ鹿屋体育大学へ？
後藤 国公立というのが一番の理由ですが、中学校の体育の教員を目指しているので入学させて頂きました。
バスケットボールはいつから始めたのですか。
後藤 バスケットボールをしていた母の影響で4歳から始めましたが、本格的にやりだしたのは中学生になってからです。自分の中でまだやれるまだやれる、と思って納得がいかなかったら続けているのかもしれないですね。現在マネージャーに加えて副キャプテンもさせて頂いており、これまでもとまた違う感情に出会えたり、新たな発見がありました。チームが勝つために、



鹿屋体育大学第43代体育会会長に、後藤紗希さん(スポーツ総合課程3年、尚絅高等学校・熊本)が就任しました。女子バスケットボール部のマネージャー、副キャプテンとしても活躍中の後藤さんに、話を聞きました。

第43代体育会会長に3年生の後藤 紗希さん

自分ができることはすべて妥協せずに全力で取り組みたいと考えています。
一年末の総会で決まった1年生に代わって、会長に就任したそうですね。
後藤 試合によく出るメンバーだったので、会長職との兼務が仕事量的に厳しいということから、部内で交代することになりました。学生生活も残り少ないし、こんな機会はないので挑戦してみたいと思って自分から手を挙げたのですが、大役を任せて頂いたのが最後まで責任を持ってやり切りたいと思います。
後藤さんが考えるこの大学の魅力は？
後藤 環境と人だと思っています。先生、先輩、後輩、同期、鹿屋に来てから多くの人に出会い、かけを頂き、確実に成長しているのを感じます。地域の方々も応援してくださるので、それがまた自分を奮い立たせてくれます。自分を高め続けられる環境が、ここにはあると感じます。
最後に今後の抱負をお願いします。
後藤 今年は何事も極める、ということを目指しています。昨年たくさんの経験を積み重ねてきたので、今年はそこを深く掘り下げてプロフェッショナルを目指してどんなことにもまっすぐに向き合い、目標を見失わずに頑張りたいと思います。将来の教員という職業に向けて、さまざまな経験を積んで、充実した学生生活を送れたらと思っています。

課外活動 硬式野球部

「部員の将来のため」「野球部のため」「大学のため」「社会のため」を理念に、野球を通して人間的成長を図り、社会に役立つリーダーになること。個々のパフォーマンス向上とチーム力向上に努め高度な野球技能と野球理論を習得すること。大会等で勝利することで鹿屋体育大学の発展、野球の振興発展に寄与すること。以上3点を目的として活動しています。

本野球部は、全国から部員が集まっています。2023年に初めてSS(総合型選抜)生が入部し、2025年には部員数が100名を超えました。2023年には、「全日本大学野球選手権」に初出場、そしてベスト8という成績を収めました。2年間全国大会への出場から離れていますが、再び神宮の舞台に立つため、日々、部員全員で練習に励んでいます。

本学には夜間照明付きの専用野球場や、パフォーマンスを数値化することができるSPORTECスポーツパフォーマンス研究センターなどの世界最高峰の施設が整っており、全国各地から集まる仲間と共に、思いのある指導者及び充実した施設のもとで野球に打ち込める鹿屋体育大学野球部は、日本一成長できる環境です。さらに、本学職員の皆様や地域の皆様のご協力により、野球場の設備や練習に打ち込む環境も年々良くなってきています。

鹿屋体育大学の顔として野球部の力で鹿屋体育大学を、鹿屋を盛り上げていけるような魅力的な組織を目指していきます。



自転車競技部 創部30周年

記念パーティーと活動報告会を開催

自転車競技部創部30周年記念パーティーと2025年祝勝会・活動報告会が、昨年11月24日に鹿屋市のホテルさつき苑で開催され、全国各地から関係者が集いました。

主催者を代表し、山口大貴部長兼監督から謝辞と、これまで全国優勝73人、全国優勝回数364勝、日本記録43本、オリンピック選手を延べ6人輩出した自転車競技部30周年の歩みが紹介され、今後自転車競技部のスローガンでもある「ノーアタックノーチャンス」の精神で挑戦を続けていきたいとの挨拶がありました。

会場内には自転車競技部歴代のウェアや自転車、スポンサー企業の商品等が展示され、2025年の選手の活躍や朝練の様子、創部30周年記念特別レースの動画が次々に流れました。出身地の方言を使っている部員の自己紹介では、会場が笑いの渦に包まれました。またサプライズで、文武不岐を前提に、まじめにトレーニングを積み、この1年間で最も競技力が向上した選手5人に5つの賞が贈られました。

5人を代表して最高賞の「MVPゴールデンライダー賞」を受賞した梅澤幹太さん(スポーツ総合課程3年、愛媛県立松山工業高等学校・愛媛)が、お礼の言葉と抱負を述べました。山口監督と同期のOB・OGからはテントが贈られ、4年生によるスペシャルステージ、お楽しみ抽選会を経て、会はお開きになりました。

何か物足りない、何か決め手に欠く、そんな“あと一歩”をお手伝いします。

ヒューマン印刷に繋がる

株式会社 新生社印刷

〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-22-34
TEL 0994-43-2238/FAX 0994-43-7541
URL <http://www.shinsei-p.co.jp>
E-mail kan@shinsei-p.co.jp

心にしみる... 鹿児島県産 小鹿酒造株式会社

黒糖仕込み 小鹿酒造株式会社

鹿児島県鹿屋市吾平町上名7312 TEL0994-58-7171
お酒は20歳を過ぎてから。飲み過ぎに注意しましょう。妊娠中・授乳期の飲酒はお控えください。

自宅・アルバイト先 ← DIRECT! → 自動車学校 ← DIRECT! → 学校・寮

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎 忙しい学校生活の強い味方です!!
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う **寿自動車学校**

運転免許のことなら

ご予約・お問い合わせ **TEL 0994-43-2627** E-mail: info@kotobuki-ds.jp
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市札元1-13-30 県公安委員会指定教習所(技能試験免除)
ホームページURL <http://kotobuki-ds.jp>

すべての消費者のために!!

MOVE
This is your future
寿スポーツ
BEFOREST

鹿児島県鹿屋市新川町603-2
TEL 0994-44-2123

闘いの記録 (令和7年12月～令和8年1月)

【女子バレーボール部】

■第72回秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会ミキブルーンスーパーカレッジバレー 2025 (12/2～7 東京/大田区総合体育館)
▽女子 2位 鹿屋体育大学

【柔道部】

■2025年度全日本学生柔道形競技大会 (第4回) (12/19～21)
固の形 1位 野本、長岡
柔の形 2位 渡辺、中島
投の形 6位 久永、月詔

【剣道部】

■第75回九州地区大学体育大会 (12/13 大分/クラサス武道スポーツセンター)
▽男子 1位 鹿屋体育大学
▽女子 1位 鹿屋体育大学

■第19回全日本学生剣道オープン大会

(12/20～21 岡山/シグトアアリーナ岡山)
▽男子 参段以上の部 1位 鹿屋体育大学E
3位 鹿屋体育大学C
3位 鹿屋体育大学D
ベスト8 鹿屋体育大学F
▽女子 参段以上の部 1位 鹿屋体育大学A
3位 鹿屋体育大学C
ベスト8 鹿屋体育大学E



左から、黒川前監督、金久学長、萩原さん、山口監督

平成21年3月の本学を卒業した。萩原さんは本学在学中の2006年にドーハロードレース代表選手としてアジア大会で日本人女子初優勝、オリンピック出場後の2013年から海外のトップチームに所属し、2015年シロ・ローザステージ優勝を始め日本人女子としては偉業と成績を残しました。2021年3月に引退してからは金井精機製作所本社の埼玉(橋工場)勤務として、現在は勤務して、お返しに、今

「お返しに、今」とコメントしました。萩原さんは「温かく迎え入れてくださり、感謝しありがとうございます」とコメントしました。

卒業生の萩原麻由子さんが来学

11月26日、オックスフォード大学の剣道部員7名が来学し、剣道部の稽古に参加する形で本学剣道部の学生たちと交流し、親睦を深めました。本学剣道部と英国剣道協会は令和6年5月に国際交流協定を結んでいる関係もあり、現在の英国剣道代表監督を務める高波宗人氏(本学武道課程卒業生)から依頼があり、今回の来鹿が実現しました。

前阪茂樹教授(剣道部部長・顧問教員)や大城戸知准教授(剣道部監督)からも指導を受け、稽古の最後には、前阪部長より「一日だけでしたが、お互いに学ぶことがあったと思います。今回の経験を今後につなげて、ぜひ明日からステップアップしてしっかりと剣道を頑張ってください」と激励の言葉がありました。

本学剣道部の船迫仁也さん(武道課程3年、日章学園高等学校・宮崎、鹿児島出身)は「外国の人と稽古する機会があまり無く、地稽古(自由に打ち合う実戦的な稽古法)では、日本の選手とは違う間合いから技がきたりするので、そこに対応するのが難しかったです。自分が本気でやって打たれるところもあり、稽古を通じて参考になる場所がありました」と交流体験を振り返りました。

今回の交流は、剣道を通じた英国と日本の懸け橋として、お互いに剣道の精神と技を学ぶ貴重な機会となりました。

令和8年度 公開講座募集開始!

鹿屋体育大学では、社会貢献活動の一環として地域の皆様の教養や競技力の向上を目的として、公開講座を開設しています。令和8年度は下記の講座を実施予定です。
申込方法や講習料等の詳細は、本学公式ウェブサイトをご確認ください。

講座名	日程	対象	定員
楽しいマリンスポーツ ～各種マリンスポーツ体験編～	4/12、19、26、5/10、17 (日: 9:00～12:00)	小学3年生以上	20
市民のためのテニス教室(春)	4/13、16、20、23、27、 5/18、21、25 (月・木: 19:00～21:00)	一般市民 (中学生以上)	40
健康づくりのための水中運動教室	5/7、11、14、18、21、25、 28、6/1、4、8、11、15、 18、22、25、29、7/2 (月・木: 10:15～11:45)	一般市民	20
乳がんサイバーのための エクササイズ教室	5/21、6/18、7/16、8/20、 9/17、10/15、11/19、 12/17、1/21、2/18、3/18 (木: 17:30～19:30)	乳がんの術後1年以上経過し、主治医から運動教室への参加を許可されている方	10
中高年齢者のためのSUP エンジョイ&健康教室2026	4/28、5/1、8、12、15、19、 22、26、29、6/9、12、16、 19、23、26、30 (4/28、6/30: 15:00～19:00) (それ以外の日程: 17:30～19:00)	一般市民(45歳以上)	10
楽しいスキューバダイビング ～初級者編～	5/13、20、27、6/3、10、 17、24、28 (5/13～6/24: 19:00～20:30) (6/28: 9:00～16:00(休憩1h))	小学3年生以上	20
Presentation Skills for Communicative Success: プレゼンで変わる! 英語コミュニケーションのコツ	5/12、19、26、6/2、9 (火: 13:00～14:30)	一般市民(高校生以上)	12
バレーボール・サマー・キャンプ	7/25、26 (土～日: 9:00～17:00)	小学4年生～中学生	80
バスケットボール・サマーキャンプ ～基本動作から応用へ～	7/18、19、20 (土: 14:30～18:00) (日・月: 9:00～17:30)	中学生・高校生 ※参加を希望する小学生は要相談	60
少年少女楽しいマリンスポーツ キャンプ	8/4、5、6 (火～木: 9:00～16:00)	小学3年生～6年生	24
NIFS 発! STEAM 教育プログラム ～Exceedダイナソーバージョンで、運動しながら恐竜について学ぼう～	8/5 (水: 13:00～16:00)	一般市民(小学生以上)	30
下肢のスポーツ傷害予防教室 (バスケットボール編) ～自分の体をよく知り、予防法について学ぼう～	9/12、13、19、20 (土・日: 13:30～17:00) ※各日同一内容の講座を4回実施	バスケットボール部員 (高校生)	各8
【かごしま県民大学連携講座】 健康づくり・介護予防講座 歩く 脳トレ運動～スクエアステップ～	9/25、10/9、15 (木・金: 14:00～15:30) ※カワイクス交流センターでの実施	一般市民(中高年齢者)	30
市民のためのテニス教室(秋)	10/1、5、8、15、19、26、 29、11/2	一般市民(中学生以上)	40
ベースボールキャンプ～第10回 学童野球教室～(小学生中心)	12/6 (日: 9:00～16:00)	小学生 (軟式、ソフトボール両方可)	100
ベースボールキャンプ～第24回 少年野球教室～(中学生中心)	12/13 (日: 9:00～16:00)	中学生 (軟式、硬式両方可)	200
バレーボール・ウィンター・キャンプ	2/6、7 (土～日: 9:00～17:00)	小学4年生～中学生	60

オックスフォード大学と剣道交流!



11月26日、オックスフォード大学の剣道部員7名が来学し、剣道部の稽古に参加する形で本学剣道部の学生たちと交流し、親睦を深めました。本学剣道部と英国剣道協会は令和6年5月に国際交流協定を結んでいる関係もあり、現在の英国剣道代表監督を務める高波宗人氏(本学武道課程卒業生)から依頼があり、今回の来鹿が実現しました。

前阪茂樹教授(剣道部部長・顧問教員)や大城戸知准教授(剣道部監督)からも指導を受け、稽古の最後には、前阪部長より「一日だけでしたが、お互いに学ぶことがあったと思います。今回の経験を今後につなげて、ぜひ明日からステップアップしてしっかりと剣道を頑張ってください」と激励の言葉がありました。

本学剣道部の船迫仁也さん(武道課程3年、日章学園高等学校・宮崎、鹿児島出身)は「外国の人と稽古する機会があまり無く、地稽古(自由に打ち合う実戦的な稽古法)では、日本の選手とは違う間合いから技がきたりするので、そこに対応するのが難しかったです。自分が本気でやって打たれるところもあり、稽古を通じて参考になる場所がありました」と交流体験を振り返りました。

今回の交流は、剣道を通じた英国と日本の懸け橋として、お互いに剣道の精神と技を学ぶ貴重な機会となりました。

鹿屋体育大学公式プラットフォーム「NIFS Links」誕生!

在学生・卒業生・修了生・教職員なら、どなたでも参加可能です。

鹿屋体育大学公式オンラインプラットフォーム「NIFS Links」が誕生しました!
[NIFS Links]
<https://links.nifs-k.ac.jp/>

「NIFS Links」では、主に以下の3つの機能を提供します。

- ・大学・同窓会のイベント情報の発信
- ・在学生・卒業生・修了生・教職員のコミュニケーションの場
- ・キャリア形成や学びに役立つ情報や経験の共有の場

このプラットフォームは、利用者みなさまとともに育てていく場です。経験や情報を共有していただくことで、より魅力的で有意義な交流の場へと発展していくことを期待しています。学内外のつながりがさらに広がり、キャリア支援や教育・研究活動にもお役に立てただければ幸いです。

鹿屋体育大学ではこの「蒼天」や公式ウェブサイト、その他SNS等を通して広く皆様へ本学の活動情報をお知らせしております。ご覧になってのご意見、その他鹿屋体育大学の教育研究活動等へのご意見がございましたら、今後の運営・活動の参考にさせていただきますのでぜひお寄せください。

ご意見・アンケートは右記二次元コードからweb入力できます。

鹿屋体育大学へのご意見をお寄せください。

情報発信中!

公式 HP X (旧Twitter) Facebook Instagram